

「スーパージュニア選手育成プログラム2026」 トライアル

今年も5月23日（土）、24日（日）に広島会場、5月30日（土）に福山会場でスーパージュニア選手育成プログラムのトライアルを開催しました。

このトライアルで選考された約50名が、1年間を通してさまざまなスポーツを体験する「スーパージュニア選手育成プログラム」に参加することができます。



今年のトライアルには、県内の小学4・5・6年生約270名ととてもたくさんの小学生たちが応募をしてくれ、県内各地の小学校から参加者が集まりました。学校での体力テストとは違い、周りは知らない子ばかりで受付の時には緊張気味の参加者もいましたが、全員ベストを尽くして頑張ってもらいたいと思います！

開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県スポーツ協会堂本ひさ美強化副委員長からあいさつがありました。堂本副委員長がトライアル参加者に「今日のトライアルに自分から参加したいと言って来てくれた人」と参加者に聞くと、多くの選手たちが手を挙げてくれました。続けて、



「自分から参加したいと思って来てくれた人も、周りの人に勧められて来てくれた人も、チャレンジしてくれることがとても大切なこと。トライアルでの結果が良くても悪くても、これからいろいろなことにチャレンジしてほしい。今日は思いきり力を出して頑張ってください。」と激励し、開会行事は終了しました。

準備運動を終えて、いよいよ測定開始です。観客席にいる保護者の方も、客席の前の方に集まり、カメラを構え真剣な表情で見守ります。

測定種目は、上体起こし・40m走・長座体前屈・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・20mシャトルランの6種目です。

学校でも測定したことのある種目が多いので、測定前に参加者同士で「学校では、これくらいできた」と話しながら、測定場所に向かいます。1つ1つ種目を終えて、参加者からは「学校ではもっと・・・」「学校よりも今日の方が・・・」と様々な声が聞こえてきますが、泣いても笑っても今日の記録で選考結果が決まってしまうので、参加者たちはみんな一生懸命取り組みます。



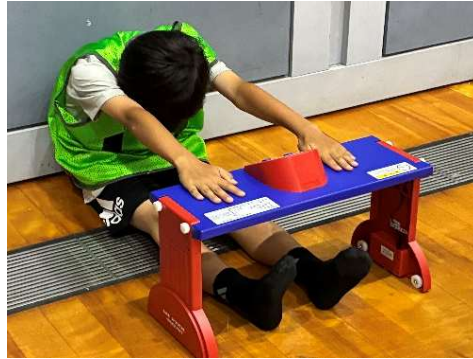
【準備運動】

ソフトボール投げ・20mシャトルランの測定では、毎年良い記録が出ると会場は大盛り上がりです。今年も体育館の壁に勢いよく当たる遠投があると、会場全体から歓声があがります。参加者同士で好記録を出した子へ拍手する姿や、上手く投げた参加者からコツを教えてもらう姿もあり、ライバル同士でありながらも、一緒に頑張る友達同士の姿は、とても素敵な光景でした。

また、シャトルランの測定でも、毎年最後まで残っている参加者に対して、自然と応援の声や拍手が沸き起こります。中には、100回を超える選手もいて、自分自身に追い込みをかけ、最後まで必死に走る姿に、全ての日程で会場全体から拍手が起こりました。



【上体起こし】



【長座体前屈】



【20mシャトルラン】



【ソフトボール投げ】



【立ち幅跳び】



【40m走】

【ハンドボール】



また、トライアル終了後に、ハンドボールとボウリングの競技紹介がありました。ハンドボールでは、参加者たちと同年代の選手が、すばやいボールパスやジャンプシュートなどを見せてくださり、想像以上の速さに、おお！と感嘆の声が上がっていました。また、ボウリングでは、ボウリングのピンを持って来てくださり、実際に触らせてもらった参加者たちは、思ったよりもズッシリとした感触に驚いていました。体験会のチラシも配っていただいたので、興味を持って、やってみたい！と思ってくれる機会となり、まずは体験会に参加してみてもらえると嬉しいです。

選考結果は各選手の記録とともに、参加者全員に6月中に通知し、合格者には、7月から計7回の体験プログラムに参加してもらう予定としています。

今回合格になった選手は、体験プログラムを通して、自分が好きだと思えたり、得意だと思える競技に出会う機会にしてほしいです。

また、残念ながら合格ではなかった参加者も、今回のトライアルをきっかけにいろいろなスポーツに挑戦してほしいと思います。新たな発見をしたり、隠れた才能を見つけたりすることができるかもしれません。そしてまた来年のトライアルにも挑戦してほしいと思います。

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島市立大学、広島経済大学、福山平成大学の学生の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



【ボウリング】